

へいせい ねんど
平成21年度
だい かい
第2回

にほんごけんてい
日本語検定

かいとう かいせつ
解答と解説

7
級

Ⓐ

- 一 … 1
二 … 1
三 … 2

◆ 同じことを言うにしても、らんぼうな言い方をすることもできませんし、ていねいな言い方をすることもできません。相手や場面を考えて、ていねいに言うことができるようになります。

一 友だちどうしでふだん話すようなときには、「いつ来るの」のような言い方をしてもよいでしょう。けれども、先生にしつもんするような場面では、同じような言い方をしたのでは失礼になります。1の、

「いいですか」や「いいのですか」のように、「です」を使って言うのがていねいです。

二 2の「いました」よりも、1の「いらつしゃいました」のほうが、ていねいな言い方です。先生のことを言うのですから、ていねいな1の言い方をしようがよいでしょう。

三 おばあさんなど、大人の人と話すようなときも、友だちどうしで話すときとはちがう、ていねいな言い方をするようにしましょう。1の「あるよ」よりも、2の「あります」のほうが、ていねいな言い方です。

問1

一〜三では、どちらの言い方がていねいでしょうか。番号で答えてください。

七級 ● 2

一 「先生に、図工の時間に牛乳パックを持ってくるように言われて」

- 1 先生、持ってくるのは、ジュースのバックでもいいですか。
2 先生、持ってくるのは、ジュースのバックでもいいの。

二 「となりのクラスの先生から、たんにんの村田先生がどこにいるか聞かれたときに」

- 1 村田先生は、さつき、図書室にいらつしゃいました。
2 村田先生は、さつき、図書室にいました。

三 「下校のどちゅう、おばあさんから、駅への道を聞かれたときに」

- 1 この道をまっすぐ行って、さいしよの信号を右に行くところあるよ。
2 この道をまっすぐ行って、さいしよの信号を右に行くところあります。

一〜三のように言われたとき、どうしますか。番号で答え教えてください。

一 「病院で、お医者さんから」

「もう、菜をのまなくてもよさそうですね。」

1 菜をのみつづける。

2 菜をのむのをやめる。

二 「家でつたいをしようとしたときに、お母さんから」

「庭の水まきの前に、はがきを出しに行つてくれるとうれしいな。」

1 はがきを出しに行つた後、庭の水まきをする。

2 庭の水まきをした後、はがきを出しに行く。

三 「朝ごはんを食べているときに、お母さんから」

「くだものもいいけど、パンと野菜も食べないといけないわよ。」

1 パンと野菜を食べないようにする。

2 パンと野菜だけを食べるようにする。

3 くだものとパンと野菜を食べるようにする。

3 ● 七級

問2 ● 答え

一 …… 2

二 …… 1

三 …… 3

かいせつ

◆わたしたちは、毎日の生活の中で、自分の考えや気持ちをつたえるために、それぞれの場面にふさわしい言い方を使っています。また、相手の話を聞くときには、その言い方を聞いて、こめられている考えや気持ちを分かるようにします。ここでは、考えや気持ちをつたえるための、いろいろな言い方を取り上げています。

一 「しなくてもよさそう」は、「しなくてもいいじょうぶのようだ、しなくてもいいと思う」とい

うことを表そうとする言い方です。お医者さんから、菜をのまなくてもいいと言われたのですから、**2**が正しい答えです。

二 「ししてくれるとうれしい」は、「ししてくれるとありがたい、ししてくれることをのぞんでいる」という気持ちをつたえようとする言い方です。「水まきの前に、はがきを出しに行つてくれることをのぞんでいる」のですから、**1**が正しい答えです。

三 「ししないといけない」は、「しなければならぬ、しする必要があるので」ということを表そうとする言い方です。パンと野菜も食べる必要があると言っています。また、「くだものもいいけど」は、くだものを食べるのはかまわないということを表しています。ですから、**3**が正しい答えです。

- 一 …… 3
- 二 …… 3
- 三 …… 2
- 四 …… 3

◆あることをつたえたり、言い表したりするとき、その言い方が一つとはかぎりません。それぞれについて、同じような意味を表す言い方を取り上げた問題です。

一 「ぼくひとりで作れる」の、「作れる」は、「そのことをすることが出来る」という意味を表す言い方です。ここでは、**3**の「作ることが出来る」が、同じ意味です。**1**の「作りたい」は、作ることがしたい、作ることがをのぞんでいるという気持ちを表しま

す。**2**の「作ってもいい」は、作ることをしてもらわないという意味です。

二 「木村さんの家に行かなければならない」の「しななければならない」は、「しるのがあたりまえだ、そうすることが必要だ」という意味を表す言い方です。**3**の「行かないといけない」が、同じような意味を表す言い方です。**1**の「行きたい」は、自分が行くことをしたいという意味です。**2**の「行つてはだめだ」は、行くことを禁止する言い方です。

問3 一〜四それぞれと同じような意味を表しているのは、どの文でしょうか。番号で答えてください。

一 これくらいのプラモデルなら、ぼくひとりで作れる。

- 1 これくらいのプラモデルなら、ぼくひとりで作りたい。
- 2 これくらいのプラモデルなら、ぼくひとりで作ってもいい。
- 3 これくらいのプラモデルなら、ぼくひとりで作ることができる。

二 三時までには、木村さんの家に行かなければならない。

- 1 三時までには、木村さんの家に行きたい。
- 2 三時までには、木村さんの家に行つてはだめだ。
- 3 三時までには、木村さんの家に行かないといけない。



七級 ● 4

三 「いやがるようなことを、言わないでほしい」の「ほしい」は、人に何かをたのんで、人がそうすることを希望するときの言い方です。**2**の「言わないでもらいたい」が、同じような意味を表します。**1**の「言わないほうがいい」は、相手に、言わないようにすることをすすめる言い方です。**3**の「言わないようにしよう」は、自分をふくめて、言わないようにすることをよびかける言い方です。

四 「夕立が来るみたいだ」の「〜みたいだ」は、あることがらから、その先に起こることを予想する言い方です。**3**の「夕立が来るようだ」が、同じような意味を表します。**1**の「夕立が来やすい」は、夕立が来ることが多いという意味の言い方です。**2**の

三 人のいやがるようなことを、言わないでほしい。

1 人のいやがるようなことを、言わないほうがいい。

2 人のいやがるようなことを、言わないでもらいたい。

3 人のいやがるようなことを、言わないようにしましょう。

四 空が暗くなり、かみなりの音が聞こえてきた。夕立が来るみたいだ。

1 空が暗くなり、かみなりの音が聞こえてきた。夕立が来やすい。

2 空が暗くなり、かみなりの音が聞こえてきた。夕立が来るそうだ。

3 空が暗くなり、かみなりの音が聞こえてきた。夕立が来るようだ。

「夕立が来るそうだ」は、夕立が来ることを人から聞いて知ったという意味を表す言い方です。

- 一 … 3
- 二 … 2
- 三 … 2

◆ 何かにたとえて言うことによつて、物事の様子がうまくつたえられることがあります。たとえば、「今日は、とても暑かった」と言うよりも、「今日は、まるで真夏のよう暑かった」と言うほうが、その日がどんなに暑かったかがよくつたわかります。それぞれの文が言おうとしていることにふさわしいたとえ方を考える問題です。

一 「八月のおわり」は暑い日がつづくはずなのに、「すずしい日」がつづいて別の季節が来たようだと

ています。「八月」は、夏ですから、夏が終わつてすずしくなる次の季節、3「秋」がふさわしい言葉です。

二 「山の上からながめ」た自動車のことをたとえて言おうとしています。遠くからながめたときに、物が小さく見えることを、「まるでおもちゃのように見える」とよく言います。2「おもちゃ」がふさわしい言葉です。

三 物がたくさんつんであるときによく使われる言い方は、2を使った「山のように」です。3「谷」や1「川」では、つんである様子を表すことはできません。

問4

一〜三それぞれの文は、物事を何かにたとえて言おうとしています。()の中に入る、いちばんふさわしい言葉はどれでしょうか。番号で答えてください。

一 まだ八月のおわりなのに、もう()が来たみたいにならず暑い日がつづいている。

- 「1 春 2 夏 3 秋」

二 山の上からながめると、遠くを走っている自動車が、まるで()のよう

- 「1 写真 2 おもちゃ 3 道路」

三 八百屋さんに行ったら、たくさんのキャベツが()のようにつんであつた。

- 「1 川 2 山 3 谷」

()の中に入る、いちばんふさわしい言葉はどれでしょうか。番号で答えてください。

一 川原かわらに下くだりると、大きな石が () ころがっていました。

〔1 どしどし 2 ぐんぐん 3 ごろごろ〕

二 たてものが古いので、ろうかろうかを歩くと、() 音がしました。

〔1 ゴシゴシ 2 ザクザク 3 ミシミシ〕

三 () とあたたかい春はるの日に、庭にわでねこがひるねをしています。

〔1 ほかほか 2 ぽかぽか 3 ぼたぼた〕

問5 ● 答え

一 …… 3

二 …… 3

三 …… 2

かいせつ

◆それぞれの文が言おうとしている様子ようすに合った言葉ことばをえらぶ問題もんだいです。

一 1 「どしどし」は、物事ものごとが次つぎから次つぎへといきおいよく行おこなわれていく様子ようすをいいます。「どしどし意見いけんを言いってください」のように使つかいます。また、2 「ぐんぐん」は、物事ものごとの進すすみ方かたがはやい様子ようすをいいます。「あさがおのつるがぐんぐんのびている」のように使つかいます。3 「ごろごろ」は、あちこちにたくさん

ある様子ようすや、大きな重おもいものがころがる様子ようすなどをいいます。「大きな石いしがころがって」と言いっているので、3 「ごろごろ」が当あてはまります。

二 1 「ゴシゴシ」は、力ちからを入れてこする様子ようすや音おとを表あらわします。「うんどうぐつをゴシゴシあらう」のよ
うに使つかいます。2 「ザクザク」は、お金かねやたから物ものなどがたくさんある様子ようす、また、野菜やさいをきざむ音おとを表あらわします。「ほうちようで、キャベツをザクザク切きる」のよ
うに使つかいます。3 「ミシミシ」は、重おもみで板いたな
どが音おとを立てる様子ようすをいいますから、3 が当あてはま
ります。

三 1 「ほかほか」は、まだ熱あつさがのこっていて、湯ゆ気が上あがるぐらいたという様子ようすをいいます。「ほかほかのごはん」のよ
うに使つかいます。2 「ぽかぽか」は、日ひが当あたってあたたかく、気持きもちちがよい様子ようすです
から、2 が当あてはまります。3 「ぼたぼた」は、水みづなどの液体えきたいがたれる様子ようすです。「水道すいどうのじゃ口くちから、水みづがぼたぼたたれている」などと使つかいます。

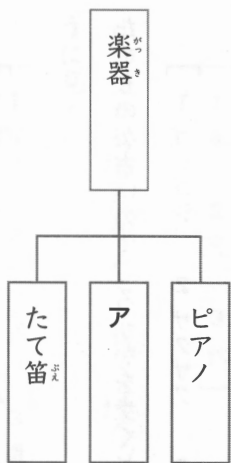
- 一 ア…3
- 二 イ…2
- 三 ウ…3

かいせつ

◆「ピアノ・たいこ・たて笛」などをまとめてよぶ言葉が「楽器」です。反対に言うと、「楽器」にふくまれるなかまには、「ピアノ・たいこ・たて笛」などがあるということになります。このような、同じなかまになる言葉と、それらをまとめてよぶ言葉とのかんけいを考える問題です。

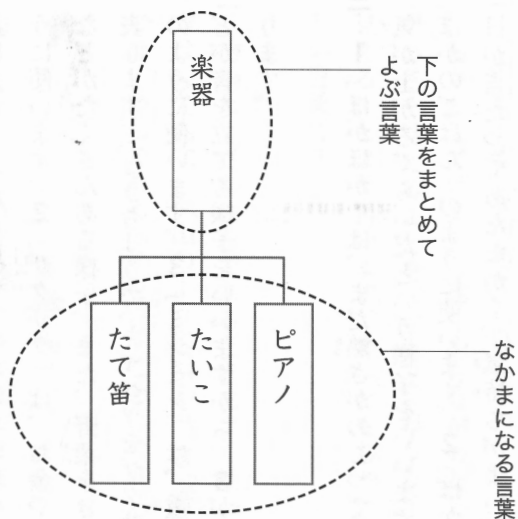
問6

一〜三のアイ・ウには、どの言葉が入るでしょうか。番号で答えてください。



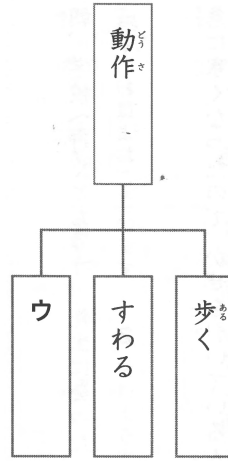
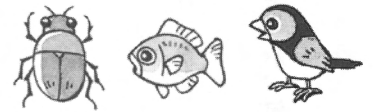
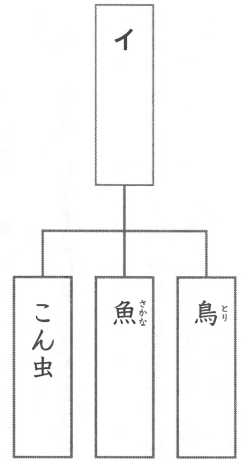
- 1 音楽
- 2 けんばん
- 3 たいこ

問題の図は、次のようなかんけいを表しています。



一 アには「楽器」にふくまれる、なかまになる言葉が入りますから、3「たいこ」が答えです。1「音楽」は、楽器をならしたり歌を歌ったりして音を表すこと。2「けんばん」は、ピアノやオルガンなどの、指でたたく部分のことです。

二 イには「鳥・魚・こん虫」をまとめてよぶ言葉が



- 1 足
- 2 かなしい
- 3 走る

入りますから、**2**「動物」が答えです。**1**「植物」は、木や草などをまとめてよぶ言葉で、鳥や魚をまとめてよぶ言葉ではありません。**3**「かぶと虫」は、「ちよう」や「てんとう虫」などがなかまになる言葉で、「こん虫」にふくまれます。

三 **ウ**には「動作」にふくまれる、なかまになる言葉が入ります。「動作」は、「歩く」「すわる」などをまとめていう、体の動きのことなので、**3**「走る」が答えです。**1**「足」は、歩いたり走ったりするときには動かす、体の部分です。**2**「かなしい」は、「うれしい」や「楽しい」などがなかまになる、気持ちを表す言葉で、体の動きを表す言葉ではありません。



- 一 …… 2
 二 …… 2
 三 …… 2
 四 …… 1
 五 …… 2

◆「おはよう・おおく」「おねえさん・さんせい」「のよ
 な、のばす音が入った言葉や、「がっこう」「しゃしん」「き
 ゅうり」「はしむ」「のよだに、小さい字の」「う」「や」「ゆ
 」よ」の入った言葉の書き表し方に注意しましょう。

一 2 「おはようございます」が正しい書き表し方
 です。「おはよう」のほか、「そうじ」「どうろ(道路)」「く
 のような」「こう思う」などの言葉は、「う」を使っ
 て書き表します。

二 2 「おおく(多く)」が正しい書き表し方です。「お
 おく・おおい(多い)」「のほか、「とおく・とおい(遠
 い)」「こおり(氷)」などの言葉は、「お」を使って
 書き表します。

三 2 「せつめい(説明)」が正しい書き表し方です。
 「きれい」「ていねい」「とけい(時計)」「さんせい
 (賛成)」などの言葉は、声に出して言うとき、「エイ」
 とのばして言うことも、「エイ」のように言うこと
 もありますが、書くときには「い」を使って書き表す。

四 1 「けつしん(決心)」が正しい書き表し方です。
 あることをしようと心に決めるという意味の言葉で、
 「けつ」「しん」とべつべつに言うのではなく、ひと
 つづぎに「けつしん」と言います。

五 2 「しょうぼうしゃ(消防車)」が正しい書き表
 し方です。

問7

一～五の
 ださい。

(中の言葉は、どちらが正しい書き表し方でしょうか。番号で答えてく
 ださい。)

七級 ● 10

一 朝、学校へ行くところ、先生に会ったとき、

「1 おはようございます 2 おはようございます」と、あいさつをしました。

二 急に寒くなったので、かぜを引いている人が (1 おおく 2 おおく) になりました。

三 大川さんが、ゲームのしかたを分かりやすく (1 せつめえ 2 せつめい) してく
 れました。

四 これからは、もうすこし早く起きようと (1 けつしん 2 けつしん) しました。

五 火事があったらしく、(1 しょうぼうしゃ 2 しょうぼうしゃ) が、何台も走って
 きました。

一〜四の漢字の画数は何画でしようか。番号で答えてください。

一 引

- [1 三画
- 2 四画
- 3 五画]

二 地

- [1 六画
- 2 七画
- 3 八画]

三 鳥

- [1 十画
- 2 十一画
- 3 十二画]

四 細

- [1 十一画
- 2 十二画
- 3 十三画]

問 8 ● 答え

一 … 2

二 … 1

三 … 2

四 … 1

細	鳥	地	引	一画
細	鳥	地	引	二画
細	鳥	地	引	三画
細	鳥	地	引	四画
細	鳥	地	引	五画
細	鳥	地	引	六画
細	鳥	地	引	七画
細	鳥	地	引	八画
細	鳥	地	引	九画
細	鳥	地	引	十画
細	鳥	地	引	十一画
細	鳥	地	引	十二画
細	鳥	地	引	十三画

かいせつ

◆「画数」とは、漢字を組み立てている、ひとつづきに書かれる点や線の数のことです。「引」の「丨」、 「地」の「丨」、 「細」の「く」など、一画でつづけて書く部分も多いので、気をつけなくてはなりません。

また、漢字は書き順が決まっているので、その順番にしたがって書いていきます。

取り上げた漢字の、それぞれの書き順と画数は、次とおります。

- 一 … 2
二 … 2
三 … 1
四 … 1

かいせつ

◆これまでに習った漢字の中にも、たとえば、「見」と「貝」や、「人」と「入」のように、形にているものがあります。そのような、形がにている漢字の使い分けについての問題です。

一 まるい形をした百円のお金のことを、「ひやくえんだま」とよく言います。2の「玉」が、まるい形をしたものという意味の漢字で、ふつうは「たま」と読みますが、「百円玉」のときには、「ひやくえん

だま」と読みます。1の「王」は「おう」と読んで、国の「おうさま(王様)」や、何かで一番の人のことをいい、「ホームラン王」などと使います。

二 こどもの日をいわうために、国の旗「ひのまる」を立てているということですから、「まる」という読み方をするほうの漢字をえらびます。2の「丸」が「まる」と読む漢字です。「日の丸」は、白い地に、太陽をかたどった赤い丸をえがいた旗です。1の「九」は、数を表す「きゅう」と読む漢字です。

三 弟は「生まれて半年」ということですから、まだとても「ちいさい」ということです。「ちいさい」という読み方をするのは、1の「小」です。2の「少」は、「すくない」という読み方をする漢字です。

四 「夜の間にふった」「真っ白になっていた」ということから、「ゆき」がふったということをおおうとしていると分かります。「ゆき」という読み方をするのは、1の「雪」です。2の「雲」は、「くも」という読み方をする漢字です。

問9

一〜四の()に当てはまる漢字はどちらでしょう。番号で答えてください。

七級 ● 12

一 引き出しの中をせいりしていたら、おくの方に百円()が一まいあった。

- [1 王 2 玉]

二 今日()は、こどもの日なので、となりの家は、日の()の旗を立てている。

- [1 九 2 丸]

三 ぼくの弟は、生まれて半年しかたっていないので、まだとても()さい。

- [1 小 2 少]

四 朝起きてみると、夜の間にふった()で、あたり一面が真っ白になっていた。

- [1 雪 2 雲]

一〜四の（ ）に当てはまる漢字はどちらでしょうか。番号で答えてください。

一 毎年、ぼくの家では、親せきといっしょにクリスマス（ ）をします。

〔 1 回 2 会 〕

二 このあいだ、けむりをはいて走る（ ）車をはじめて見ました。

〔 1 気 2 汽 〕

三 きのお、家の近くにある公（ ）で、友だちとあそびました。

〔 1 円 2 園 〕

四 となりのクラスとサッカーの試合をしたとき、ぼくがゴールをきめて、同（ ）になりました。

〔 1 点 2 天 〕

問10 ● 答え

- 一 … 2
- 二 … 2
- 三 … 2
- 四 … 1

かいせつ

◆ 同じ読み方のある漢字の使い分けの問題です。その文で言おうとすることや、言葉の意味を考えて、正しい漢字を使うようにしましょう。

一 2 「会」を使って、「クリスマス会」と書くのが

正しい書き方です。「会」は、人びとの集まりという意味の漢字で、「運動会」のように使います。ほかに、「人に会う」というときにも、「会」を使います。

1 「回」は、「一回、二回、…」と数えるときに使

う漢字です。

二 2 「汽」を使って、「汽車」と書くのが正しい書き方です。水を熱くわかしてできるじょうき（蒸気）の力で走るきかん車のことです。「汽」は、湯気、じょうきという意味の漢字です。1 「気」は、空気、心、自然の様子などの意味のある漢字で、「気温」「気持ち」「元気」「天気」など、いろいろな言葉に使われます。

三 2 「園」を使って、「公園」と書くのが正しい書き方です。「園」は、にわ（庭）、ひとくぎりの土地という意味の漢字で、「ようち園」「植物園」のように使います。1 「円」は、まるい形という意味の漢字で、「円形」などと使います。

四 1 「点」を使って、「同点」と書くのが正しい書き方です。「点数」「得点」などというときにも「点」を使います。「点」にはほかに、小さなしるし、場所などの意味があり、「点線」「地点」などの言葉があります。2 「天」は、空、自然、生まれつきという意味のある漢字で、「天体」「天然」「天才」のように使います。

ア … 1
イ … 3
ウ … 4
エ … 2

問11

ア〜エの□の部分に1〜4の漢字を入れると、例のように、一つの漢字ができます。
□に入る漢字を、番号で答えてください。

例 理 ↓ □ に 「里」 を入れると、「理」という漢字ができます。

ア
言 □

イ
日 □

かいせつ

◆ 漢字には、いくつかの部分に分けたとき、それぞれが別の漢字になっているものがあります。そのような、二つの漢字の組み合わせを見つける問題です。

ア
計

「言」と「十」を組み合わせると、「計」という漢字になります。

イ
明

「日」と「3」を組み合わせると、「明」という漢字になります。

ウ
岩

「石」と「4」を組み合わせると、「岩」という漢字になります。

ウ
石

エ
糸

1 十
2 会
3 月
4 山

15 ● 七級

エ
絵

「糸」と2「会」を組み合わせると、「絵」という漢字になります。



- 一 … 4
二 … 5
三 … 1
四 … 7

かいつつ

◆漢字には、いくつかの意味をもつものがあります。そのような漢字を取り上げた問題です。

一 4 「下」が答えです。「下」という漢字には、アの「さ(がる)」やイの「さ(げる)」などの読み方があり、それぞれ、ていどがひくくなる、ひくくするという意味を表しています。そのほか、悪くなるという意味で「せいせきが下がる」、後ろにうつる、うつすという意味で「一歩下がる」「いすを下げる」

のようにも使います。アには3の「上」も入りますが、イは「音がうるさかった」となっているので、「上」は入りません。

二 5 「強」が答えです。「強」という漢字には、アのように、じょうぶであるという意味や、イのように、力があるという意味などがあります。

三 1 「赤」が答えです。「赤」は、血や、もえている火の色を表す漢字で、アやイはその意味で使われています。また、まったく、すっかりという意味で、「赤の他人」のようにも使います。

四 7 「頭」が答えです。「頭」という漢字は、「あたま」という意味を表すほか、アのように、大きな動物を数えるときにも使われます。また、「頭」には、イの「先頭」のように、はじめという意味もあります。「先頭」は、いちばん前、いちばん先という意味の言葉です。

問12

一〜四それぞれのア・イの()には、同じ漢字が入ります。当てはまる漢字を

□

七級 ● 16

一 ア 十一月に入ってから、気温が急に()がった。

イ テレビの音がうるさかったので、音の大きさを()げた。

二 ア 水泳を習いはじめてから、体が()くなったように思う。

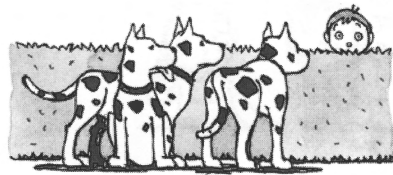
イ 台風の()い風で、道ばたの木が、何本もおれていった。

三 ア みんなの前で先生からほめられたので、顔が()くなった。

イ タヤけて西の空が()くそまって、とてもきれいだ。

四 アとなりの家では、大きな犬を、三（ ）も飼っている。
 イ 日本人のマラソン選手が、スタートしてすぐに先（ ）に立った。

5 強	1 赤
6 弱	2 青
7 頭	3 上
8 行	4 下



- 一 … 買
- 二 … 内
- 三 … 門
- 四 … 数

◆それぞれの文の中で、——のところの言葉の意味を考えて、それを漢字で書く問題です。

……………
 一 だいこんを「かいに行く」ということですから、お金をはらって自分のものにするという意味の、「買」が当てはまり、「買(いに)」が答えになります。

二 「コップのうち側」をあらうということですから、ものの中のほうという意味の、「内(側)」が答えに

なります。これと組になる言葉は、「外(側)」です。

三 犬小屋が「家のもん」のそばにあるということなので、たてもいや、しき地の出入り口のところという意味の、「門」が答えになります。

四 弟が「百までかぞえられる」というのですから、一、二、三…と数を言っていくという意味の、「数(える)」が答えになります。

問13

一〜四の——のところを、漢字一字で書いてください。

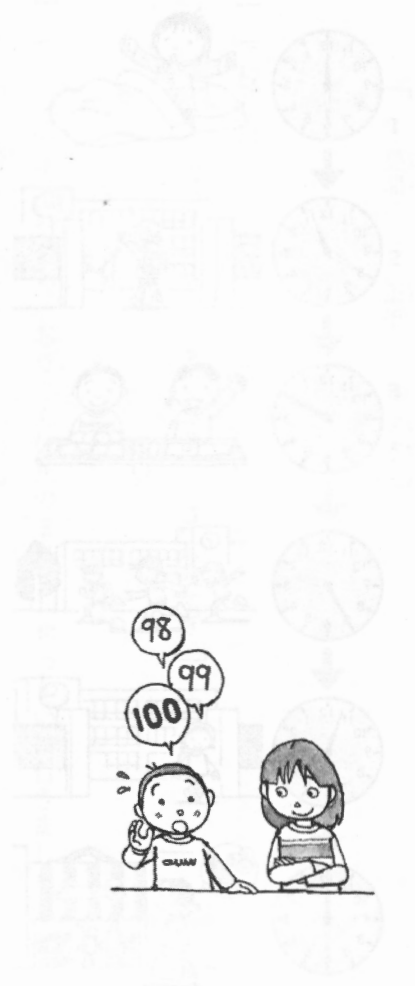
一 お母さんにたのまれて、だいこんをかいに行きました。

二 よこれがのこらないように、コップのうち側をよくあらいました。

三 うちの犬小屋は、父が作ったもので、家のもんのそばにおいてあります。

四 わたしが教えてあげたので、弟は、百までかぞえられるようになりました。

「八和さくご」は、日本語の漢字を、英語の単語と対比して、英語学習に役立つようにまとめた辞書です。



この辞書は、日本語の漢字を、英語の単語と対比して、英語学習に役立つようにまとめた辞書です。

- 四...ス
- 三...ス
- 二...ス
- 一...ス

七級

この辞書は、日本語の漢字を、英語の単語と対比して、英語学習に役立つようにまとめた辞書です。

「八和さくご」は、日本語の漢字を、英語の単語と対比して、英語学習に役立つようにまとめた辞書です。

この辞書は、日本語の漢字を、英語の単語と対比して、英語学習に役立つようにまとめた辞書です。

七級

この辞書は、日本語の漢字を、英語の単語と対比して、英語学習に役立つようにまとめた辞書です。

「八和さくご」は、日本語の漢字を、英語の単語と対比して、英語学習に役立つようにまとめた辞書です。

この辞書は、日本語の漢字を、英語の単語と対比して、英語学習に役立つようにまとめた辞書です。

- 一 …… 3
 二 …… 2
 三 …… 2
 四 …… 2

◆ 一日の生活の中で使われる、時間や時ごくにかんけいする言葉についての問題です。

一 上から二つ目の図を見ると、ともさんは、八時を少しすぎたから学校に着いています。3 「八時すぎ」が当てはまります。

二 「午前中」は、朝から昼の十二時(午後〇時)までのことをいいます。昼の十二時のことは、「正午」

といいます。ともさんは、午前中は、朝八時すぎから昼の十二時までの四時間ぐらいを学校ですごしたことになります。2 「正午」が当てはまります。

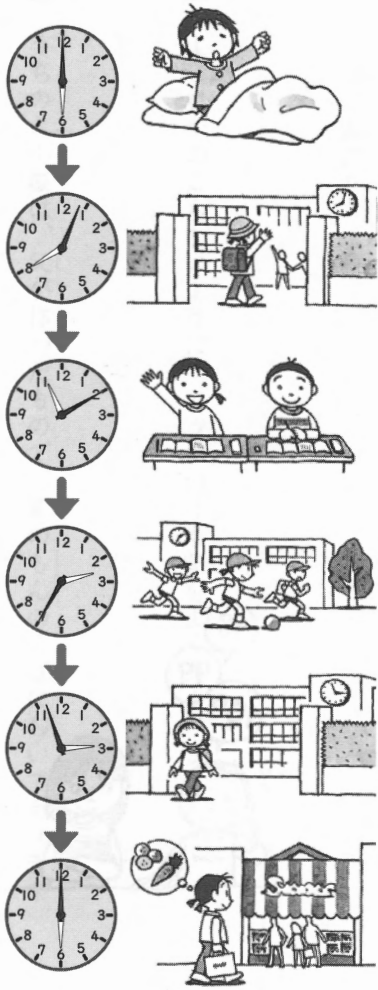
三 上から五つ目の図を見ると、ともさんは、三時になる少し前に下校しています。2 「三時前」が当てはまります。

四 いちばん下の図を見ると、ともさんは家に帰ったあと、午後六時ごろにおつかいに行っています。

1 「昼間」は、昼の間、明るい間のことです。3 「夜中」は、夜おそくなったところのことです。2 「夕方」は、日がくればじめたころから暗くなるころまでのことをいいます。「六時ごろ」というのは、2 「夕方(の)」が当てはまります。

問14

ともさんの一日の生活を表している左の図を見て、一〜四の()に当てはまる言葉を選ばせてください。



一 家を出て、()に学校に着きました。

- 1 八時ちょうど
 2 八時前
 3 八時すぎ

二 午前中は、八時ごろから（ ）までの四時間ぐらいを、学校ですごした
ことになります。

- 〔 1 昼間 2 正午 3 夕方 〕

三 下校したのは、（ ）でした。

- 〔 1 三時ちょうど 2 三時前 3 三時すぎ 〕

四 （ ）の六時ごろ、お母さんにたのまれて、おつかいに行きました。

- 〔 1 昼間 2 夕方 3 夜中 〕

- 一 ア…2
 イ…1
 ウ…1
 ニ ア…1
 イ…2

かいつ

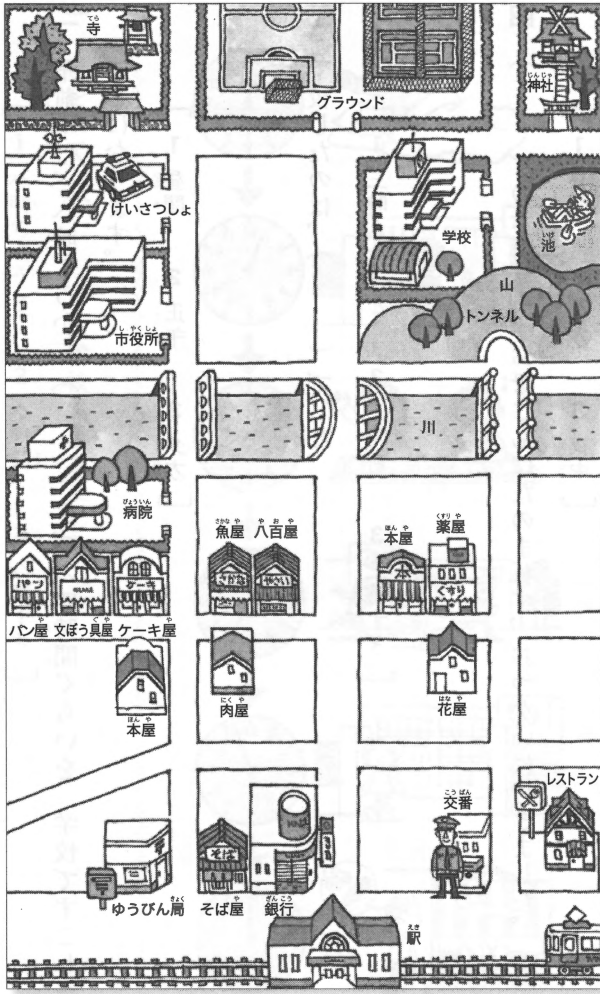
◆地図にかかれた建物の位置や、方向などを表す言葉が正しく使えるかということを取り上げています。

一 ア「橋」の場合は、2「わたる」と言うのが正しい言い方です。「わたる」は、こえて行くことをいいます。1「くぐる」は、物の下を通りぬけることをいい、「トンネルをくぐる」のように使います。

イ 1「先」は、あるところからもっと進んだと

問15

ひろしさんが住んでいる町の地図を見て、しつもん answered てください。



七級 ● 22

ころをいいます。2「手前」は、あるところよりも自分に近いところをいいます。市役所は橋をわたったところにありますから、1が答えです。

ウ お店や家を数えるときは、「一けん、二けん、三けん…」と数えますから、1が答えです。「交差点」は、道が交わったところをいいます。2「二歩目」は、一歩、二歩と、歩いたときの足を動かした二つ目という意味です。

二 ○○の前の道「すぎて」「まっすぐ」「ぶつかる」「しばらく」「交差点」「右/左」「ななめ向かい」などの言葉に注意して、左の地図で、それぞれ線をたどってたしかめてみましょう。「しばらく」は、少しの間のことをいいます。また、「向かい」は、向き合った位置のことをいいます。

アは、1「神社」に着きます。

イは、2「花屋さん」に着きます。

一

ア〜ウの()に当てはまる言葉をえらんで、番号で答えてください。

ア 駅前から交番とレストランの間の道をまっすぐ行くと、橋があります。その橋を()と、トンネルがあります。

イ 1くぐる 2わたる

イ 駅前からそば屋さんとううびん局の間の道をまっすぐ行くと、橋があります。その橋の()に、市役所があります。

ウ 文ぼう具屋さんは、駅前からそば屋さんとううびん局の間の道を行って、二つ目の交差点を左に曲がった、右がわの()です。

「1 二けん目 2 二歩目」

二 駅前から、アとイのように行くと、それぞれどこへ着くでしょうか。番号で答えてください。

ア 銀行の前の道を、橋をすぎてまっすぐ行くと、グラウンドにぶつかります。そこを右に曲がってしばらく行くと、交差点があります。その交差点をこえた左がわです。

「1 神社 2 池 3 けいさつしょ」

イ 銀行の前の道を行って、二つ目の交差点を右に曲がると、左がわに本屋さんがあります。その本屋さんのななめ向かいです。

「1 葉屋さん 2 花屋さん 3 文ぼう具屋さん」

